

# 躍止佳

いきいき狭山人  
びと



一筆で描くのが特徴。色の調合具合で、重厚感や透明感なども表現

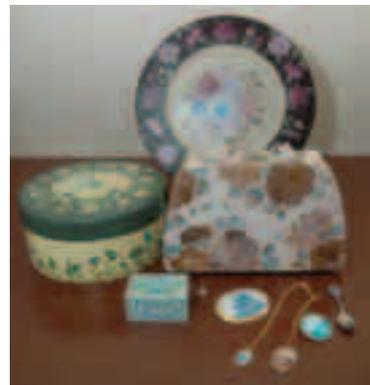
## 生活を彩り豊かにする オランダ・フォークアートに魅せられて 自分の納得する作品をつくり続けたい

家具や陶器、布など、さまざまな素材に描くツールペイントは、生活を彩るアートとして広く親しまれています。そのツールペイントの一つ、オランダ・フォークアートのアーティストが南入曾在住の小林広子さんです。

小林さんとオランダ・フォークアートとの出会いは、20数年前。オランダ民族絵画の展示会を見たのがきっかけでした。展示会にいた先生が、チューリップをまるで魔法のような筆さばきで描き、そのグラデーシヨンの美しさに心を奪われたのを覚えています。それからすぐに勉強を始め、練習に打ち込み、技術を磨いていました。そして、2年後どうしても本場で勉強したくなり、家族を説得し、単身で1か月間、オランダに渡ったそうです。それからオランダで学んだ伝統的な技法をもとに、独自の描き方を創作していきました。

小林さんとオランダ・フォークアートとの出会いは、20数年前。オランダ民族絵画の展示会を見たのがきっかけでした。展示会にいた先生が、チューリップをまるで魔法のような筆さばきで描き、そのグラデーシヨンの美しさに心を奪われたのを覚えています。それからすぐに勉強を始め、練習に打ち込み、技術を磨いていました。そして、2年後どうしても本場で勉強したくなり、家族を説得し、単身で1か月間、オランダに渡ったそうです。それからオランダで学んだ伝統的な技法をもとに、独自の描き方を創作していきました。

小林さんとオランダ・フォークアートとの出会いは、20数年前。オランダ民族絵画の展示会を見たのがきっかけでした。展示会にいた先生が、チューリップをまるで魔法のような筆さばきで描き、そのグラデーシヨンの美しさに心を奪われたのを覚えています。それからすぐに勉強を始め、練習に打ち込み、技術を磨いていました。そして、2年後どうしても本場で勉強したくなり、家族を説得し、単身で1か月間、オランダに渡ったそうです。それからオランダで学んだ伝統的な技法をもとに、独自の描き方を創作していきました。



生活の中に溶け込んだアート

### オランダ・ザンスフォークアート

小林広子さん

市民みなさんの声

# オピニオン

## きれいな地域を自分たちの手で ごみを捨てづらい環境づくりが大切



5月26日、圏央道側道クリーン作戦が行われました。そこで今回は、参加者に清掃活動について、話を伺いました。

**ご意見・感想** クリーン作戦には、開始当初から参加していますが、ごみの量はだいぶ減ってきました。活動の成果が出てきたことはうれしいです。きれいなところには、ごみを捨てづらいものです(70代・男性)

清掃活動に参加して、ごみを拾ってみると、捨てなくなると思えます。子どもたちからの教育が大切です。最初は、少し強制的に参加を呼びかけることも必要だと思います(50代・女性)

いつも利用している道路なので、クリーン作戦に参加しました。地域の方が、ごみを拾っている姿を見たりしていると捨てなくなると思えます(30代・男性)

ありがとうございました

圏央道側道クリーン作戦には、約350名の参加をいただき、1トンのごみを回収することができました。ほかにも市内では、不老川クリーン作戦や赤坂の森クリーン活動、水野の森のクリーン作戦、地域清掃など、さまざまな清掃活動が行われています。多くの皆さんに参加していただき、ごみの落ちていない、きれいな狭山市をみんなでつくりましょう。  
担当 生活環境課

皆さんの「声」をお待ちしています。  
お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)  
✉koho@city.sayama.saitama.jp

問合せ佐藤七子さんへ  
2954 2746

庭に咲いた草花や枝を使って、四季折々の自然を家の中に表現できることは素晴らしいことだと思いませんか。

私たちが、昭和49年に発足し、現在8名の会員が新狭山公民館で活動しています。華道は大変奥が深く、ほんの少し枝を切り詰めたり、位置を移動したりするだけで作品のイメージがガラッと変わります。長く経験しても、これだよという事は決してありません。仲間の作品を良く見て、アドバイスを聞き、それを自分の創作に反映させることが重要です。

玄関や床の間に何げなく活けた花々は、その場の雰囲気を変えます。造花では決して成しえない、生きた草木の持つ、はかり知れない力です。また、私たちがとって、家族が自分の作品を待ち望んでいることが、何よりの励みです。作品をわが家で、発表すること、毎日の生活にメリハリができ、華道が明るい家庭づくりに一役買っていると思えます。

私の宝物...

## 瓢箪の手づくり工芸品

私は、10年前からさまざまな種類の瓢箪を栽培しています。そして、その瓢箪を使った工芸品づくりを数年前から始めました。



瓢箪は、古来より縁起の良いものとされています。(広瀬東在住)

この写真の作品は、丹精こめて育てた瓢箪に網目の透かしを施したもので、完成までに5か月以上かかりました。小さい瓢箪で練習を重ね、無心で制作に打ち込んだ日々が思い出される、世界でたった一つの大切な宝物です。



数々の作品の中、自慢の一品

今回は、北入曾在住の友人を紹介します。

# Hello ハロー 仲間たち

Vol.310



会員は現在すべて女性ですが、男性の方も楽しめます

## 新狭山華道部